



MGU Chapel Letter

—第13号 2022年6月30日—

発行：大学宗教センター



* 2022年度聖句*

「主の慈しみは決して絶えない。
主の憐みは決して尽きない。」

哀歌 3章 22節



❖ 大学礼拝 7月のスケジュール!

【週3回、昼休みの12時10分～30分に礼拝堂で】

7月の礼拝日程（説教者の氏名）

- ・7月1日（金） 佐々木哲夫 （学院長）
- ・7月4日（月） 金丸 真 （仙台長命ヶ丘キリスト教会牧師）
- ・7月6日（水） 松本 のぞみ （日本基督教団 牧師）
- ・7月8日（金） 海野 道郎 （理事長）
- ・7月11日（月） 松井 浩樹 （東北学院中学校・高等学校宗教主任）
- ・7月13日（水） 田中 信矢 （南光台キリスト教会牧師）
- ・7月15日（金） 清水 禎文 （教育学部）

～ 7月18日（月） 海の日のため休み ～

- ・7月20日（水） 松本 周 （一般教育部）

7月20日（水）で前期の大学礼拝は終了です!!
後期の礼拝は9月26日から。

- * 聖書・讃美歌をお持ちください。
- * 金曜日は音楽科学生がオルガン奏樂の奉仕をいたします。

❖ キリスト教講座のお知らせ（7月14日・21日）

2022年度初めてのキリスト教講座が7月14日（木）4限に礼拝堂で行われます。「『絶望名言』で読む聖書」という題で栗原健先生（一般教育部）が話して下さいます。「絶望名言」とは、2016年夏から始まったNHK深夜ラジオ番組の名前です。落ち込んでいる時こそ「あえて『絶望の言葉』を聞く」ことでかえって気持ちが晴れるという、ユニークなコンセプトで話題になっています。実はそのコンセプトのモデルは聖書にあった！？というのがこの話のテーマです。ぜひ参加してみてください。7月21日（木）4限には礼拝堂2階のヴェリタスで、第2回の講座「ウクライナ音楽を知ろう！（1）」が行われます。ウクライナの伝統的なフォークソング、18～19世紀の同国のキリスト教音楽を紹介します。奥深いウクライナ文化に触れる良い機会です。

❖ キリスト教教育特別集会（6月13日開催）から思うこと



キリスト教教育特別集会が6月13日（月）に大学講堂で開催され、790名の学生・教職員が出席しました。講師は、尚絅学院大学教授でNPO法人「仙台夜まわりグループ」理事長の今井誠二先生。仙台市における野宿者（ホームレス）の現状、支援のかたちと課題、先生が支援活動の中で体験されて来たことについて、詳しく学ぶことができました。

ここで思い出すのが、旧約聖書のエレミヤ書に登場する言葉です。当時のパレスチナにおける支配階級の横暴について、このように言われています。

「彼らは・・・平和がないのに、『平和、平和』と言う。」（エレミヤ書6章14節）

その時代のパレスチナ社会は、一見すると戦争もなく、平和と繁栄を楽しんでいるように見えました。しかし、その陰で多くの人々が貧困に苦しみ、権力者に虐げられていました。苦しんでいる人が放置されているのであれば、その社会がどれほど栄えているように見えても、本当の意味での平和や喜びは無いのだと聖書は言うのです。

混迷する世界の中で、日本は「平和」に見えます。しかし、実際には日本社会の中にも格差が広がり、新型コロナウイルス禍もあって多くの人が生活苦に悩み、野宿者になる人もいます。子どもたち7人に1人が貧困状態にあります。私たちがこうした現実を見ようとしないのなら、そこには本当の意味での平和はありません。

幸いなことに、今井先生のお話では、仙台市は野宿者の支援にもかなりオープンであるとのことでした。私たちもニーズがある人々を支えるために、自分たちにできることを見つけて行きたいと思います。「互いに重荷を担いなさい。そのようにしてこそ、キリストの律法を全うすることになるのです。」（ガラテヤの信徒への手紙6章2節）

（栗原）

【連絡先】宮城学院キリスト教センター

TEL : 022-279-9558

Email : christ-c@mgu.ac.jp